

2 成田商圏（商業中心都市）

(1) 商圏の概要

表IV-2-1 成田商圏

商圏 (基準吸引率)	旧・市町村区界				現・市町村区界					
	市町村	市町村 吸引率	商圏人口 (人)	吸引人口 (人)	市町村	市町村 吸引率	商圏人口 (人)	吸引人口 (人)		
									計	市町村
第1次 (30%以上)	計	10	71.4%	263,179	187,987	計	8	69.9%	264,073	184,525
	旧・成田市		93.0%	101,686	94,568	成田市		87.6%	122,776	107,552
	旧・下総町		90.9%	7,796	7,087	富里市		53.7%	51,338	27,569
	旧・大栄町		76.0%	12,400	9,424	酒々井町		55.8%	21,361	11,919
	富里市		53.7%	51,338	27,569	印旛村		33.7%	12,823	4,321
	酒々井町		55.8%	21,361	11,919	栄町		70.3%	23,949	16,836
	印旛村		33.2%	12,823	4,257	芝山町		55.7%	8,323	4,636
	栄町		70.3%	23,949	16,836	神崎町		38.4%	6,734	2,586
	芝山町		55.7%	8,323	4,636	多古町		54.3%	16,769	9,106
	神崎町		38.4%	6,734	2,586					
	多古町		54.3%	16,769	9,106					
第2次 (10～30%未満)	計	16	14.9%	537,355	80,119	計	9	14.8%	557,961	82,340
	佐倉市		10.3%	171,381	17,652	佐倉市		10.8%	171,381	18,509
	八街市		24.5%	75,644	18,533	八街市		24.5%	75,644	18,533
	本埜村		12.4%	8,632	1,070	本埜村		12.4%	8,632	1,070
	旧・山武町		13.7%	19,603	2,686	山武市		12.2%	58,527	7,140
	旧・蓮沼村		14.0%	4,697	658	横芝光町		21.4%	25,728	5,506
	旧・松尾町		16.6%	11,018	1,829	銚子市		10.5%	73,864	7,756
	旧・横芝町		23.9%	14,550	3,477	匝瑳市		14.3%	41,790	5,976
	旧・光町		17.3%	11,986	2,074	香取市		18.6%	86,449	16,080
	銚子市		10.3%	73,864	7,608	東庄町		11.1%	15,946	1,770
	旧・八日市場市		15.4%	31,962	4,922					
	旧・野栄町		11.7%	9,804	1,147					
	旧・佐原市		22.6%	46,772	10,570					
	旧・山田町		15.4%	11,038	1,700					
	旧・栗源町		25.9%	5,160	1,336					
	旧・小見川町		12.2%	25,298	3,086					
東庄町		11.1%	15,946	1,770						
第3次 (5～10%未満)	計	4	7.7%	70,292	5,384	計	1	7.8%	70,453	5,495
	旧・旭市		7.7%	40,403	3,111	旭市		7.8%	70,453	5,495
	旧・海上町		9.3%	11,128	1,035					
	旧・飯岡町		6.6%	10,855	716					
	旧・干潟町		6.6%	7,906	522					
合計	30	31.4%	870,826	273,490		18	30.5%	892,487	272,359	

注1) 吸引率=吸引人口÷商圏人口×100

注2) 各商圏内の最上段吸引率は圏内加重平均(圏内吸引人口計÷圏内商圏人口計×100)

注3) 市町村・商圏人口は平成18年10月1日現在(千葉県毎月常住人口調査より)

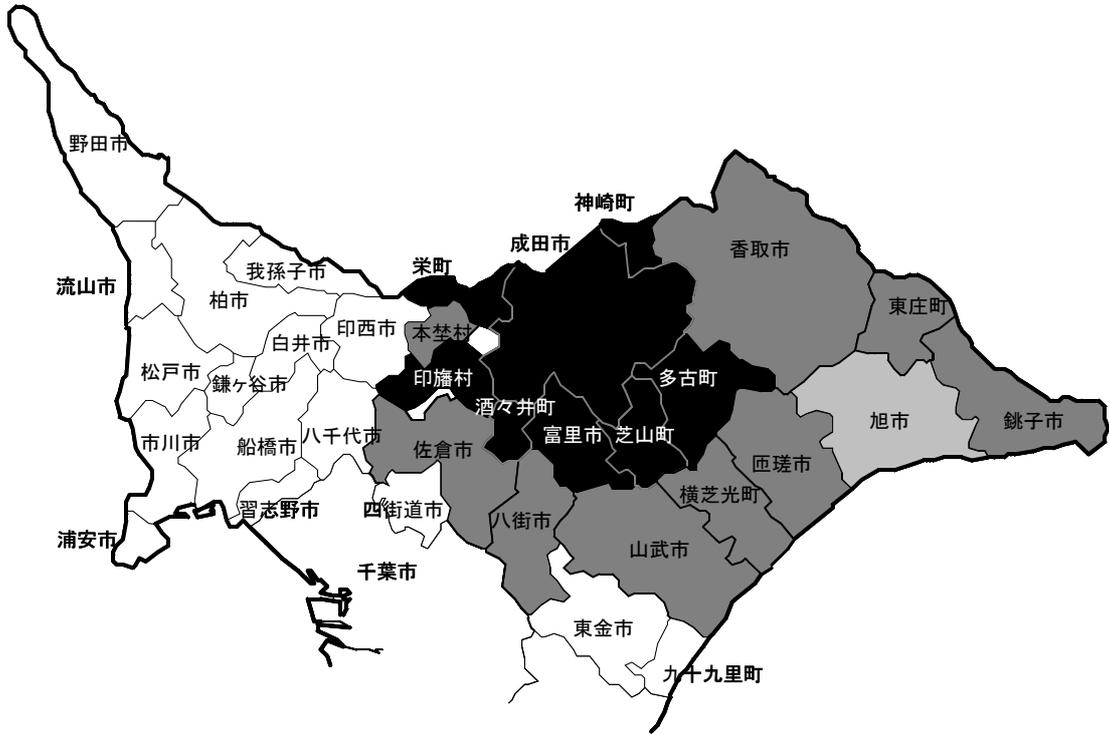
但し、旧市町村人口は平成18年10月末日現在(各市町村住民基本台帳字別人口表より)

○成田商圏は印旛ブロックを中心に、香取ブロック及び山武ブロックの北部を含めた9市7町2村から形成され、商圏人口は約89万人(成田市人口の約7.3倍)、商圏からの吸引人口は約27万人(同約2.2倍)、商圏内吸引率は30.5%となっている。

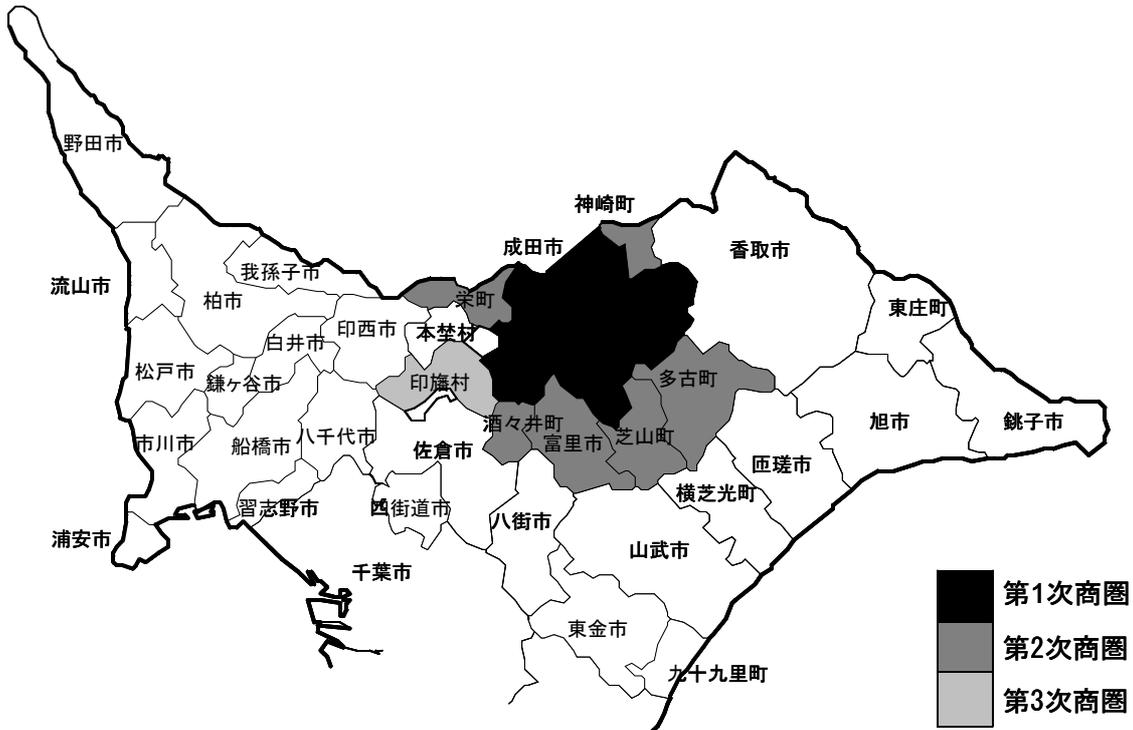
○第1次商圏は2市5町1村で吸引率の平均は69.9%、第2次商圏は6市2町1村で吸引率の平均は14.8%、第3次商圏は1市で吸引率は7.8%となっている。

図IV-2-1 成田商圏（衣料品・食料品）

（衣料品）



（食料品）



(2)旧市町村区界（旧・成田市）での前回調査との比較

○商圏内市町村数

- ・第1次商圏は、1市7町2村であったうち、1村が第2次商圏に移動したものの、1町が第2次商圏から入り、また1町は市制を施行したので、数に変化はないが2市7町1村となった。
- ・第2次商圏は、3市6町であったうち、1町が第1次商圏に移動し1市が圏外に出たものの、第1次商圏から1村が、第3次商圏から2市2町1村が入り、また、新たに1市2町が入ったことから、7増して5市9町2村となった。
- ・第3次商圏は、2市3町1村であったうち、2市2町1村が第2次商圏へ移動したが、新たに1市2町が入ったことから、2減して1市3町となった。
- ・商圏全体では、25市町村（6市16町3村）であったものが、5増して30市町村（8市19町3村）となった。

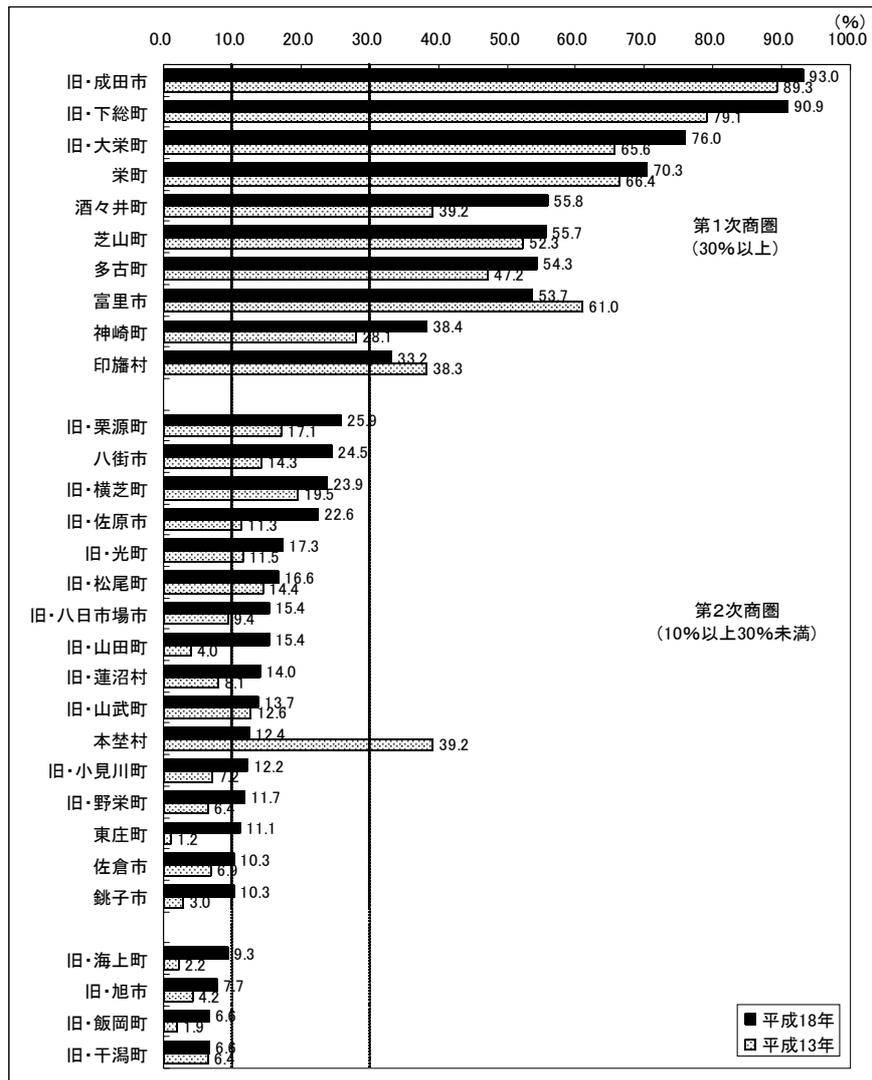
○商圏人口：前回調査時（765,049人）から増加して870,826人となった。（前回比＋13.8%）

○商圏内吸引率：前回調査時（30.5%）から上昇して31.4%となった。（前回比＋1ポイント）

○吸引人口：商圏人口・吸引率がともに増加したことから、前回調査時（233,364人）から増加して273,490人となった。（前回比＋17.2%）

○吸引力：吸引人口が増加したことから、前回調査時（242.7%）から上昇して269.0%となった。（前回比＋26ポイント）

図IV-2-3 旧・成田市の吸引状況の変化（旧市町村区界）



(3) 市町村合併による市町村区界変化に伴う変化

○商圏内市町村数

- ・第1次商圏は、旧市町村区界では2市7町1村であるが、1市（成田市）2町が合併して1市となったため、2減して2市5町1村となった。
- ・第2次商圏は、旧市町村区界では5市9町2村であるが、2市8町1村が合併により3市1町になったため、7減して6市2町1村となった。
- ・第3次商圏は、旧市町村区界では1市3町であるが、その全てが1市になったため、3減して1市となった。
- ・商圏全体では、旧市町村区界では30市町村（8市19町3村）であるが、新市町村区界では12減して18市町村（9市7町2村）となった。前回調査時の25市町村（6市16町3村）との比較では7減となった。

↓

↓

(現市町村区界での商圏の前回調査との比較)

- 商圏人口：現市町村区界での商圏人口は前回調査時（765,049人）から増加して892,487人となった。（前回比＋16.7%）
- 商圏内吸引率：前回（30.5%）と変わらず30.5%となった。
- 吸引人口：前回（233,364人）から増えて272,359人となった。（前回比＋16.7%）
- 吸引力：吸引人口は増加したものの、自市人口が合併により増加（＋27.7%）したため、前回（242.7%）から低下して221.8%となった。（前回比▲21ポイント）

(4) 衣料品購入における商圏内市町村の具体的な変化

○衣料品購入における成田商圏内の市町村の具体的な変化を表Ⅳ－1－2に示す。

表Ⅳ－2－2 成田商圏の市町村の変化（衣料品）

衣料品 商圏 (基準吸引率)	平成13年(旧・成田市)		平成18年(旧・市町村区界)			平成18年(現・市町村区界)	
	市町村	平成18年 での変化	市町村	平成13年 からの 変化	市区界変化 による商圏 からの移動	市町村	平成13年 からの 変化
第1次 (30%以上)	計 10		計 10			計 8	
	旧・成田市		旧・成田市			成田市	☆
	酒々井町		旧・下総町		○(成田市)	富里市	
	富里町		旧・大栄町		○(成田市)	酒々井町	
	印旛村		富里市			印旛村	
	※ 本埜村	第2次へ	酒々井町			栄町	
	栄町		印旛村			芝山町	
	芝山町		栄町			神崎町	
	旧・下総町		※ 神崎町	第2次から		多古町	
	旧・大栄町		多古町				
	多古町						
第2次 (10～30%未満)	計 9		計 16			計 9	
	八街市		※ 佐倉市	第3次から		佐倉市	第3次から
	※ 印西市	圏外へ	八街市			八街市	
	旧・山武町		※ 本埜村	第1次から		本埜村	第1次から
	旧・松尾町		旧・山武町		○(山武市)	山武市	☆
	旧・横芝町		※ 旧・蓮沼村	第3次から	○(山武市)	横芝光町	☆
	旧・光町		旧・松尾町		○(山武市)	銚子市	新規
	旧・佐原市		旧・横芝町		○(横芝光町)	匝瑳市	☆
	※ 神崎町	第1次へ	旧・光町		○(横芝光町)	香取市	☆
	旧・栗源町		※ 銚子市	新規		東庄町	新規
			旧・八日市場市	第3次から	○(匝瑳市)		
			旧・野栄町	第3次から	○(匝瑳市)		
			旧・佐原市		○(香取市)		
			旧・山田町	新規	○(香取市)		
			旧・栗源町		○(香取市)		
			※ 旧・小見川町	第3次から	○(香取市)		
			東庄町	新規			
第3次 (5～10%未満)	計 6		計 4			計 1	
	※ 佐倉市	第2次へ	※ 旧・旭市	新規	○(旭市)	旭市	☆
	※ 旧・蓮沼村	第2次へ	※ 旧・海上町	新規	○(旭市)		
	※ 旧・八日市場市	第2次へ	※ 旧・飯岡町	新規	○(旭市)		
	※ 旧・野栄町	第2次へ	旧・干潟町		○(旭市)		
	※ 旧・小見川町	第2次へ					
	旧・干潟町						
合計	25		30			18	

※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内 △印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市

(5) その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における商圏内市町村の具体的な変化

○その他の品目の購入における成田商圏内の市町村の具体的な変化を表Ⅳ－１－３に示す。

表Ⅳ－２－３ 成田商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)	平成13年(旧・成田市) 市町村		平成18年(現・市町村区界) 市町村	
	平成18年 での変化		平成13年 からの変化	
食料品	第1次 (30%以上)	計 3 旧・成田市 ○(成田市) 旧・下総町 ○(成田市) 旧・大栄町 ○(成田市)	計 1 成田市 ☆	
	第2次 (10~30%未満)	計 6 酒々井町 富里町 ※ 印旛村 第3次へ 栄町 芝山町 神崎町	計 6 富里市 酒々井町 栄町 芝山町 神崎町 ※ 多古町 第3次から	
	第3次 (5~10%未満)	計 2 ※ 旧・栗源町 ×(香取市) ※ 多古町 第2次へ	計 1 ※ 印旛村 第2次から	
	合計	11	8	
飲食	第1次 (30%以上)	計 11 旧・成田市 ○(成田市) 酒々井町 富里町 印旛村 本埜村 第2次へ 栄町 芝山町 旧・下総町 ○(成田市) 神崎町 旧・大栄町 ○(成田市) 多古町	計 8 成田市 ☆ 富里市 酒々井町 印旛村 栄町 芝山町 神崎町 多古町	
	第2次 (10~30%未満)	計 5 八街市 ※ 印西市 圏外へ ※ 旧・横芝町 △(横芝光町) 旧・佐原市 ○(香取市) 旧・栗源町 ○(香取市)	計 4 八街市 本埜村 第3次から ※ 匝瑳市 新規 香取市 ☆	
	第3次 (5~10%未満)	計 7 佐倉市 旧・山武町 ○(山武市) 旧・松尾町 ○(山武市) 旧・蓮沼村 ○(山武市) 旧・光町 ○(横芝光町) ※ 旧・小見川町 ○(香取市) ※ 旧・千潟町 ×(旭市)	計 4 佐倉市 山武市 ☆ 横芝光町 ☆ ※ 東庄町 新規	
	合計	23	16	
贈答品	第1次 (30%以上)	計 11 旧・成田市 ○(成田市) 酒々井町 富里町 印旛村 ※ 本埜村 第2次へ 栄町 芝山町 旧・下総町 ○(成田市) 神崎町 旧・大栄町 ○(成田市) 多古町	計 8 成田市 ☆ 富里市 酒々井町 印旛村 栄町 芝山町 神崎町 多古町	
	第2次 (10~30%未満)	計 6 八街市 ※ 印西市 圏外へ 旧・山武町 ○(山武市) 旧・光町 ○(横芝光町) 旧・佐原市 ○(香取市) 旧・栗源町 ○(香取市)	計 6 八街市 ※ 本埜村 第1次から 山武市 ☆ 横芝光町 ☆ 匝瑳市 ☆ 香取市 ☆	
	第3次 (5~10%未満)	計 7 佐倉市 旧・松尾町 ○(山武市) 旧・横芝町 ○(横芝光町) 旧・蓮沼村 ○(山武市) 旧・八日市場市 ○(匝瑳市) 旧・旭市 ○(旭市) 旧・小見川町 ○(香取市)	計 4 佐倉市 ※ 銚子市 新規 旭市 ☆ ※ 東庄町 新規	
	合計	24	18	

※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内

△印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市